

熊本県御船町の取り組み

外出自粛中高齢者のリスクに対する普及啓発

対象者

・高齢者 ・介護予防教室参加者 ・要支援認定を受けているがサービスを利用していない方

キーワード

・訪問活動 ・脳トレ ・自宅でできる体操 ・フレイル対策

行ったこと

介護予防教室参加者等に対し、顔見知りのスタッフが体調確認・安否確認のために電話・訪問による確認を行いました。
他にも介護予防教室休止中にフレイルに陥らないよう、脳トレや自宅でできる運動のチラシを配布しました。
さらにハイリスク者を抽出し、対象者に対しても介護予防プログラムの実施をしました。

工夫したこと

- 訪問時には体調や定期受診状況、運動状況、筋力低下の有無を確認しました。
- 訪問時不在の場合は、不在票を投函し電話による安否確認を行いました。
- フレイル予防のため、自宅でできる体操資料と実施状況を記録する色塗りカレンダーの配布、利用者が楽しく取り組めるよう、御船にちなんだオリジナルの脳トレプリントを宿題として配布。
- 高齢者のフレイル予防のため、高齢者実態調査及びハイリスク者の抽出を行い、介護予防プログラムを実施予定です。

住民の反応

- ほとんどの高齢者から訪問を喜んでいただきました。
- 面会を控えてほしいと言われたのは数件程度。
- 代わりに、電話による体調確認を行いたい旨を説明し、実施しました。

外出自粛の段階的緩和の目安

○「新しい生活様式」に基づく行動。手指消毒やマスク着用、発熱等の症状がある者は外出等を避けるなど、基本的な感染防止策の徹底・継続。
○ 感染拡大の兆候や施設等におけるクラスターの発生があった場合、外出自粛の強化等を含めて、国と連携しながら、都道府県知事が速やかに協力を要請。その際、専門家によるクラスターの発生原因やそれへの有効な対策等に関する分析を出来る限り活用（業種別ガイドラインの改定にも活用）。緊急事態宣言が出た場合、対策を強化。

時期	外出自粛	
	県をまたぐ移動等	観光
【移行期間】 ステップ① 5月25日～	△ * 不要不急の県をまたぐ移動は避ける（これまでと同じ）。	△
ステップ① 6月1日～	○ * 一部首都圏（埼玉、千葉、東京、神奈川）、北海道との間の不要不急の県をまたぐ移動は慎重に。	* 観光振興は県内で徐々に、人との間隔は確保
ステップ② 6月19日～ * ステップ①から約3週間後		△
ステップ③ 7月10日～ * ステップ②から約3週間後	○	* 観光振興は県をまたぐものも含めて徐々に、人との間隔は確保 * GoToキャンペーンによる支援（7月下旬～）
【移行期間後】 感染状況を見つつ、 8月1日を自途 * ステップ③から約3週間後		○ * GoToキャンペーンによる支援